

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第1区分
 【発行日】平成21年6月4日(2009.6.4)

【公開番号】特開2007-294158(P2007-294158A)
 【公開日】平成19年11月8日(2007.11.8)
 【年通号数】公開・登録公報2007-043
 【出願番号】特願2006-118443(P2006-118443)
 【国際特許分類】

F 2 1 S 2/00 (2006.01)
 G 0 3 B 21/14 (2006.01)
 G 0 9 G 3/36 (2006.01)
 G 0 9 G 3/20 (2006.01)
 G 0 9 G 3/34 (2006.01)
 G 0 2 F 1/133 (2006.01)
 F 2 1 Y 101/00 (2006.01)

【F I】

F 2 1 M 1/00 M
 G 0 3 B 21/14 A
 G 0 9 G 3/36
 G 0 9 G 3/20 6 8 0 C
 G 0 9 G 3/34 J
 G 0 9 G 3/20 6 4 2 P
 G 0 9 G 3/20 6 4 2 J
 G 0 9 G 3/20 6 3 1 U
 G 0 2 F 1/133 5 8 0
 F 2 1 Y 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月20日(2009.4.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光源から投射された光をライトバルブを介してスクリーンに投射する投射型表示装置であって、

前記光源の駆動状態を測定する測定手段と、

前記測定手段によって測定された駆動状態に基づいて、前記ライトバルブを制御する制御手段と、

を備えることを特徴とする投射型表示装置。

【請求項2】

前記制御手段は、予め指定された前記光源の駆動状態と前記光源の発光光に対応する輝度とに基づいて前記ライトバルブを制御することを特徴とする請求項1に記載の投射型表示装置。

【請求項3】

前記ライトバルブは、R G Bの光それぞれに対応した複数のライトバルブから構成されており、

前記制御手段は、前記複数のライトバルブを構成するそれぞれのライトバルブを独立して制御することを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の投射型表示装置。

【請求項 4】

前記制御手段は、予め指定された前記光源の駆動状態と発光スペクトルとに基づいて前記ライトバルブを制御しホワイトバランスを補正することを特徴とする請求項 3 に記載の投射型表示装置。

【請求項 5】

前記光源は放電ランプであり、

前記測定手段は、前記放電ランプ内部の電極間の電圧または電極間の電流を測定することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 の何れか 1 項に記載の投射型表示装置。

【請求項 6】

安定状態における前記光源の駆動状態をメモリに記憶する記憶手段と、

前記測定手段によって測定された駆動状態と前記メモリに記憶された前記安定状態における前記光源の駆動状態との比較に基づいてユーザに報知する報知手段と、
をさらに有することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 5 の何れか 1 項に記載の投射型表示装置。

【請求項 7】

光源から投射された光をライトバルブを介してスクリーンに投射する投射型表示装置の制御方法であって、

測定手段が、前記光源の駆動状態を測定する測定工程と、

制御手段が、前記測定工程によって測定された駆動状態に基づいて、前記ライトバルブを制御する制御工程と、
を備えることを特徴とする制御方法。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記の目的を達成するための本発明による投射型表示装置は以下の構成を備える。即ち

光源から投射された光をライトバルブを介してスクリーンに投射する投射型表示装置において、光源の駆動状態を測定する測定手段と、測定手段によって測定された駆動状態に基づいてライトバルブを制御する制御手段とを備える。